

湯沢市の

地域学校協働活動

地域の人材を生かした
学校への支援活動

地域づくりの中での
未来の人材育成

地域資源を生かした
ふるさと学習

学校の力を生かした
地域づくりの推進

湯沢市地域学校協働本部

地域学校協働活動

推進員【各本部に配置】7名

湯沢北地区
地域学校協働本部

湯沢東
小学校

湯沢北
中学校

湯沢南地区
地域学校協働本部

湯沢西
小学校

湯沢南
中学校

山田地区
地域学校協働本部

山田
小学校

山田
中学校

地域学校協働活動

統括推進員【教育委員会に配置】

稲川地域
地域学校協働本部

稲川
小学校

稲川
中学校

雄勝地域
地域学校協働本部

雄勝
小学校

雄勝
中学校

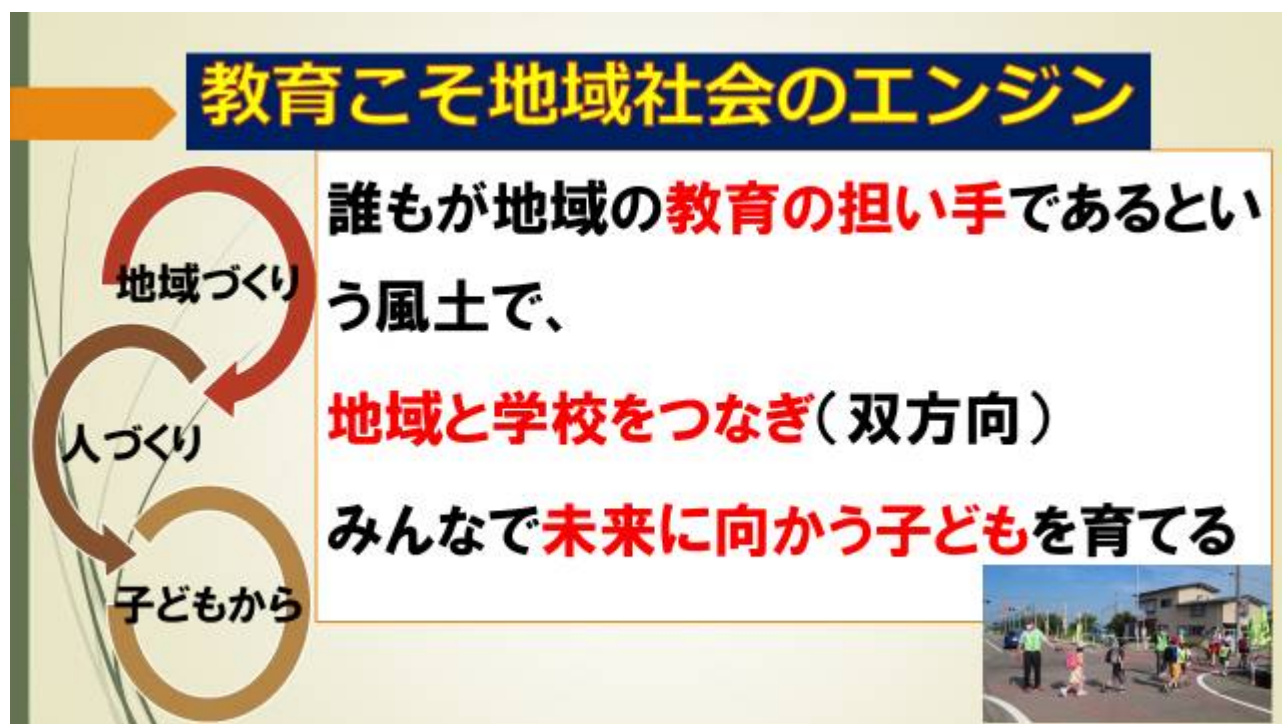
皆瀬地域
地域学校協働本部

皆瀬
小学校

皆瀬
中学校

目次

概略・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1～P 3
1 多様な人材の確保と地域・各団体とつながる活動	P 4
2 子どもたちの安全安心を守る活動	P 8
3 教育環境や学習環境を整備する活動	P 10
4 教育活動の質を高め、内容を豊かにする活動	P 15
5 コミュニティ・スクールとの一体的な活動	P 19
6 未来塾の活動	P 23
終わりに・・・・・・・・	P 24



A 地域と学校が結び付く組織づくり

コミュニティ・スクール

地域とともにある**学校づくり**

学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組み。子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人に様々な魅力が広がっていく。

地域学校協働活動

学校を核とした**地域づくり**

地域の各年代の住民、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動である。

ネットワーク

多様な活動

持続的な活動

をつくる

B 地域学校協働活動として想定される活動例

- ① 学びによるまちづくり、地域課題解決型学習（中学校や高校）
- ② 未来の地域人材育成を意識したふるさと学習
- ③ 地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画
- ⑤ 多様な教育的ニーズのある子どもたちへの学習支援
- ⑥ 外部人材等を活用した長期休業や土曜日等における教育支援活動
- ⑦ 地域からの家庭教育支援活動（和輪人との連携）
- ⑧ 学校に対する多様支援活動や協力活動
- ⑨ 学校施設を利用して地域からアプローチする活動

C 地域学校協働活動の目指す姿

支援依頼

子どもの成長 → 関わる大人も学び合う

連携・協力

子どもの学びを応援 → 地域も子どものパワーを得る

連携・協働

なぜ学校と地域が結び付けばよいのか

持続可能な地域社会にむけて・・・次の事柄をどう考えますか？（文科省中央教育審議会）

- ➡ これまでの地縁団体？ 新しいつながりへ
- ➡ 次代を担う子どもたちへの教育は、今の大人の未来に直結。
- ➡ 依頼に応じた手伝いだけの関係は連携ではない。
- ➡ 学校が地域コミュニティの核 → 地域の活性化
- ➡ 学校に偏りすぎた教育観？

< 協働という言葉がこれからのスタンダードになる。 >

地域づくり→人づくり→子どもの未来へつなぐ

湯沢市における学校と地域の連携・協働活動

こんなことがしたい
こんなことができる

こんな人材が欲しい
こんな取り組みをしたい

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）
「学校運営協議会」を設置している学校のことです。「地域とともにある学校づくり」を目指しています。

学校 **地域**
貢献・奉仕 共有・交流 支援・評価

地域学校協働活動（地域と学校がパートナーシップ）
地域と学校が目標を共有して行う活動で、子どもの成長を軸にして「学校を核とした地域づくり」を目指しています。
社会教育法第5条

CS 学校運営協議会の主な機能

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5
・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。（必要）
・学校運営について、教員委員会または校長に意見を述べることができる。
・教職員の任用に関して教育委員会に、意見を述べることができる。

学校運営協議会 10名程度 地域住民 保護者
地域学校協働活動推進員 地元企業
（住民や保護者が学校運営に継続的に参画するしくみ）
・学校運営や学校課題について＜権限と責任＞（校長）
・話し合い、協議（問題解決の手立て）
・協議の開催ワークショップ・教育活動の事業化



協議・熟議
教育活動の目標や目的、学校課題と地域課題の関連などを共有する

実践・実践
幅広い多様な人材で、具体化する活動や支援を通じて学校と地域をつなぐ

地域と学校が一体となることで求められていることは

地域の次代を担う子どもたちを育てること

- ・学校の目標やビジョン、課題を家庭や地域全体で共有し、当事者意識を高める。
- ・多様な人材が教育に携わっていく。（多様な経験を持つ地域人材の活用）
- ・具体的な取り組みを、学校・地域で適切に役割分担していく。
- ・持続可能な取り組みの組み、連携・協働してできることの見直しと再構成をすすめる。

熟議（目指す子ども像）安全・安心防災 学力向上 キャリア教育 地域課題 地域活性化 未来像

「学びの土」
もっと知る/できる/わかる
体感する学び

「開かれた土」
互いに関心をもち地域の力を生かす学び

学校（風） **地域（土）**

「内話の土」
つながる大人の存在

「安心の土」
見守り応援し続ける人々の存在
「多様性の土」
異なる立場や役割の人々の存在

＜学校支援＞学校の環境整備活動（植栽、図書、校内掲示など）安全安心に関わる活動（見守り活動、防災教室など）授業などの補助やグロリアティチャー、キャリア教育 学校行事への支援（学習発表会、なべっこなど）
＜地域づくりへ＞地域行事や祭りなど地域を活性化させる活動 地域貢献ボランティア活動への参加
＜地域解決型学習＞職場体験 生きろ学習 郷土の伝統文化の伝承 歴史学習 ふるさと学習 社会問題解決学習（人口減少など）
＜協働活動＞地域資源を活用した学習（起業体験、地域おこし）防災体験や地動防災教室 学校施設の地蔵利用
＜成果後＞子ども教室 地域未来塾 家庭教育支援活動＞

地域学校協働本部（市内6本部）
より広い層の住民や団体の参画し、緩やかなネットワークを形成することで、地域学校協働活動を推進する体制
地域学校協働活動推進員（市内全部をカバー）
地域学校協働活動推進員（各本部に配置）



1 多様な人材の確保および「つながる」活動

地域と学校とをつなぐために地域学校協働活動推進員が奮闘しています

多様で継続的な活動を進めるために大切にしたい地域学校協働活動とは
＜地域学校協働活動推進員がめざしていること＞

- | | |
|--|--------------|
| ① 地域と学校（保護者）の <u>連携システムの構築</u> （双方向） | 互いが役立つ関係 |
| ② たくさんの人へ <u>協働活動のよさ</u> を普及・広報活動 | まわりに広める |
| ③ ボランティアなど <u>持続する人的・組織的資源</u> の開拓 | 人を集める |
| ④ 地域の教育資源を生かした <u>協働プログラム</u>
→総合的な学習の時間や特色ある学校づくりへの協力コーディネート | 一緒にやることを考える |
| ⑤ コミュニティ・スクールなどの「 <u>チーム学校</u> 」へ | たくさんの声がとどく活動 |
| ⑥ 学校と地域の関係機関、社会教育施設等との連携・協働体制の構築 | 面でつながる活動 |

テーマ

地域の多様な人材を活用した活動

～民生児童委員との連携活動～

雄勝本部

雄勝小学校

活動の概要

→毎日の子どもの生活を共有する活動＜清掃ボランティア＞

雄勝地域の民生児童委員は、各地区で月1回の定例会の他各種社会福祉協議会との連携、高齢者宅への訪問など住民支援を行っている。以前は学校訪問として授業参観を行っていたが、昨年度より学校との連携を効果的、継続的に行うために、環境整備の連携活動として児童との清掃活動を行った。



成果、留意点

- ・実際につながって動く活動を進めるために、民児協定例会で統括推進員が活動の趣旨等を説明し、今回の活動が実現した。
- ・清掃活動が15分であることから、活動の短さを感じる委員もいた。次年度からは「昔遊び」など、児童と交流を図れる事業を行いたい。

いろんな声

時間が短く、児童との交流が図れなかった

やらされ感があった

児童に掃除方法を教えても、期待する反応がなかった

児童とのふれあいが楽しかった

テーマ ちょこっとボラをしてみない！
～家でできるボランティアもあります～

皆瀬本部
皆瀬小学校

活動の概要

→学校に来なくてもできるボランティアがある

形の切り抜きや、ちょっとした飾り作りなど、家庭内でできるボランティアを頼んでいる。その依頼については、児童生徒を通じてお願いするか、直接材料を届けてお願いしている。

成果、留意点

- ・学校に来なくても、家での作業のために概ね快く引き受けてもらえる。
- ・依頼の際に、作業内容を細かく詳しく説明する必要がある。

いろんな声

家族で協力してやることができ
て楽しかった

やれる時間にやれることをやると
いったボランティアの原則だね



手書きの募集チラシ

テーマ 地域の情報を共有しよう
～コミュニティカレンダーの制作～

雄勝本部
雄勝小・中学校

活動の概要

→みんなで地域の情報を共有する

地域とともにある学校を推進するために、雄勝こども園、雄勝小・中学校、湯沢翔北高校雄勝高の学校行事情報を収集し、月別地域コミュニティカレンダーを作成している。学校以外の関係機関にも情報を提供している。毎月発行の地域ボランティア通信「こどもまんなか」も、さらに地域づくり協議会の地域行事を掲載し、地域と学校の連携・協働を効果的に行っている。

成果、留意点

- ・地域とともにある学校づくりのために、具体的な情報源として共有できる。
- ・このカレンダーの趣旨を広く理解していただき、広く普及することをこれからも考えていきたい。

いろんな声

学校や地域の動きが一目
でわかる

コミュニティ・スクール
についてよくわからない



テーマ 学校と地域とのつながりをより深いものに

～地域に学校の様子を伝えるための工夫～

皆瀬本部

皆瀬小・中学校

活動の概要

→皆瀬支所内に学校コーナーを設置し定期的に掲示

保育園や、小学校・中学校それぞれの子どもたちの作品や学校行事等での様子などを随時張り替えて掲示している。また、学校支援のボランティアの様子なども紹介している。



成果、留意点

- ・皆瀬支所を訪れる地域の方々が、喜んでみている。
- ・学校の関わる人が少ない方々にも学校の様子を伝えることができる。
- ・支所の行事やイベントの際には、来庁した人へ妨げにならない程度にして掲示スペースに配慮している。

いろんな声

学校に来なくても、学校
のことがわかるのがいい

毎回支所に行くたびに
楽しみにしている

できるだけ多くの地域の人目に
触れることができて良かった

テーマ 地域との架け橋となる推進員になるため

～積極的に地域の方からの情報を収集していく～

湯沢北本部

湯沢東小・北中学校

活動の概要

→各種地域団体とのつながりを広げていく

地域のニーズを吸い上げ、情報をストックしておくことで地域学校の協働活動の機会も生まれやすい。見守り隊や民生児童委員、地区センターとの接触機会を増やして、推進員としての顔を覚えてもらう。このような方々は、いろいろな人材とつながっているので、地域を知る意味でも貴重な応援団となっている。



成果、留意点

- ・相談事がある時は、間に入ってもらうことで、物事がスムーズに進むことが多い。
- ・地域団体へ推進員として頼っていくことで、向こうからも地域の情報やニーズが伝えやすいようである。



いろんな声

また、話をしに来てね

学校には直接言えなくても、推進員には話しやすいね

活動の概要

→教員や学校ニーズを知るためには

普段からよく会話をし、まず信頼関係を築くことが最も近道である。コミュニケーションを取り合う中で雑談からニーズを拾うこともあり、地域との協働に繋げやすい。引き受けできない案件もあるが、言葉に出すことで他の可能性を探すきっかけにもなる。



成果、留意点

- ・教員から小さな思いつきなどや相談などをしてもらうことで推進員の存在意義があると感じる。(学校内に推進員が駐在する点を生かして)
- ・推進員が不在の時に、ボランティア依頼カードを用意しているが、ほとんど使われることがなく「直接電話」か「机に付箋」のケースが多い。
- ・職員室に推進員の席があることが、話しやすさに結びつくように思う。

いろんな声

地域教材など、相談に乗ってもらって助かった

赴任した時は、地域のことや前年度のことを教えてもらった

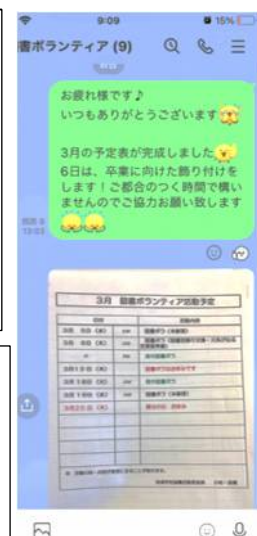
テーマ SMS をつかってボランティアを

～ボランティアを集めたり、連絡をしたりする工夫～

活動の概要

→ボランティア側からも気楽に申し込める

決まった曜日で活動しているボランティアや、人数の多さから、グループラインを使用している。ボランティアごとにグループをつくり活動予定を知らせ、参加を募っている。(図書、環境、ICT、読み聞かせなど) ボランティア側からもアクセスできる。



成果、留意点

- ・推進員の連絡業務量が減った。連絡の取り落としなどのミスが少なくなった。
- ・line 登録していないボランティアへの連絡を忘れないように配慮が必要である。要請が来たからと言って必ず出なければならないという義務感をもたせない配慮も必要である。

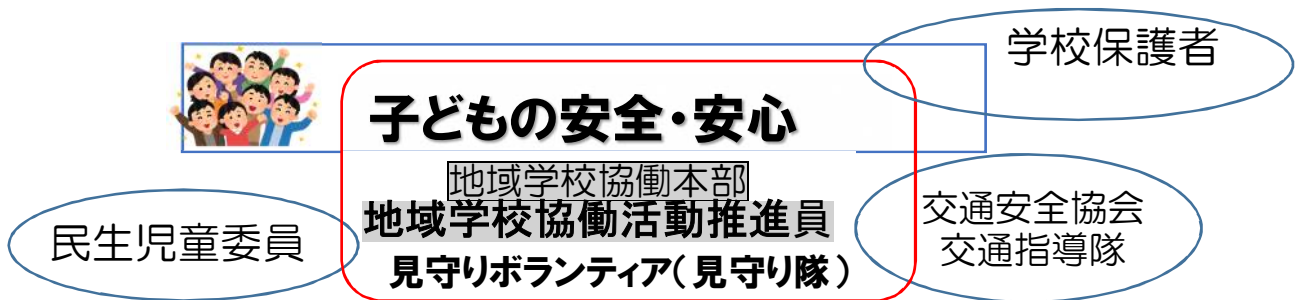
いろんな声

月初めに活動の連絡が来るので、予定が立てやすい

急な中止や変更なども line で届くので動きやすい

2 子どもたちの安全安心を守るための活動

地域の宝である子どもたちを守る組織は地域連携協働本部で支援しています。各学校における見守り隊は、地域ボランティアの皆さんです。



見守り活動とは

登下校時の見守り活動は、学校を中心に、保護者やPTA、地域住民、行政、警察、民間企業、地域団体等一致団結して連携・協働し、「地域活動」の一環として取り組むことが重要です。

また警察等が実施するような「警戒・パトロール（警ら）」ではありません。

一人一人が無理なく、できるときにできる場所で行います。小さな取り組みの積み重ねによって、地域全体で子どもたちの安全を守る環境が生まれるとともに、地域コミュニティの活性化も期待できます。

⇒ 湯沢市見守りハンドブックから

テーマ 子どもたちの安全安心を見守る活動

～交通安全教室を通して活躍する見守り隊～

山田本部

山田小学校

活動の概要

→17名の「山田っこ安全隊」の見守りの活躍

「交通安全教室4/19」（4年生以上は自転車、3年生以下は徒歩）でも安全隊の方々が要所に立ち、児童の安全確保と指導に当たってくれた。終了後には、湯沢警察署員や学校側との情報交換の場を設定し、危険箇所等について要望を伝えたり、講話を聞いたりしている。



安全な自転車の乗り方指導

成果、留意点

- ・安全隊の方々と、児童に紹介する場ともなっている。
- ・危険箇所と思われる道路上に立って指導してもらうことで、児童は安全な走行ができた。
- ・交通安全教室は、顔合わせや情報交換、共通理解の場にもなっている。

いろんな声

児童の様子を見ることができて、毎年楽しみにしている

湯沢警察署の交通課とも直接話すことができ、事故回避につながることも多い

テーマ 子どもの安全安心を見守る組織作り
～稲川小見守り隊の活動を支える体制～

稲川本部
稲川小学校

活動の概要

→統合時から、4地区ごとに見守り組織をつくる。

見守り隊がなかった地区も含めて、名簿作成から組織作りをし、毎年5月の「見守り隊連絡会」を開催し、連絡を密にして活動している。駒形地区は、若駒支援隊として継続活動している。学期ごとに感謝を伝える通知を出している。1年ごとに名簿を作成し、推進員が全体を把握している。



成果、留意点

- ・見守り活動では、車や子どもに対しての無理な指示や指導はしないことを共通理解してもらっている。
- ・年1回の顔合わせで、日頃感じていることを言える機会をつくっている。
- ・メール登録することで、学校からの発信（休校や学校報など）を受けとることができる。ただし、メール登録していない方への連絡と学校報の配布は推進が受け持っている。

いろんな声

子どもたちの元気な挨拶がうれしい

見守り活動をする上での責任を考えることがある

スクールバスが遅れた場合の連絡はどうなるのか

テーマ あいさつロードで元気な学校
～地域の力で子どもたちの見守りを～

湯沢南本部
湯沢西小学校

活動の概要

→学校課題を運営協議会の中心的話題にする

学校課題の一つである「あいさつ」について熟議を行い、活動に移すことができた。「まずは、大人から」をテーマに、学校前の道路を「あいさつロード」として、運営協議会委員が年度初め、始業式後に声掛けを行っている。（雄勝本部でも同様の取組み）



成果、留意点

- ・少しずつだが、子どもからあいさつしてくれる人が増えていてうれしい。
- ・学校内でもあいさつ運動を始めた
- ・のぼりを立てることで目立たせることができた。

いろんな声

子どもから声をかけてもらうのがうれしい。元気をもらえる

中学生からも声をかけてもらうことが多くなった

テーマ

地域全体で子どもを守るために

～CS 3部体制で危険箇所マップ作り～

稲川本部

稲川小・中学校

活動の概要

→学校運営協議会、PTA 校外指導部、学校生徒指導部協働体制を組織して

令和4年に稲川地区4校の統合により、学区が広くなり、各地区の情報を共有するために。新しい危険箇所マップを協働体制で作成した。上記の3部で協議することで、それまでのマップではわからなかったところも記載された。



成果、留意点

- ・従来学校だけで作成していたが、地域や保護者の目が入ることにより現実的なマップが完成した。
- ・令和5年には、さらにアップデートしたものが作成されたが、見守り隊にも配布することができた。その後見守り隊からも、新たな情報が書き加えられ修正できた。

いろんな声

写真入りで見やすい

民生児童委員にも配布してほしい

3 教育環境や学習環境を整備する活動

地域と子どもたちの学びの意欲が向上し、教員の働き方改革にも影響しています。教員が子どもと向き合う時間を増やすことにもつながります。先生方だけではできなかったことが、できるようになりました。

環境整備ボランティア

窓ガラスへの装飾や掃除等、ボランティアの方のおかげで、学校がより明るく、きれいな環境で子どもたちが学校生活を送ることができています。



地域ができること

- 1 地域ボランティアとして学校へ
- 2 生活体験の先輩として学校へ

住民が自らの経験や知識を、未来の子どもたちに生かす。



- 3 地域の中のネットワークを生かして学校へ

学習発表会道具製作

学習発表会のために、ボランティアの方のご協力をいただきました。先生方からも感謝の言葉をいただき、やりがいのある活動となりました。



ささら舞着付けサポート

三関地区の伝統芸能が、合併後引き継がれた活動です。着付け補助として多くの皆さんにご協力いただきました。



校内環境、玄関や校内を整える

テーマ

校内掲示を考えて学校を明るく

～教員の負担軽減をはかる環境ボラ～

稲川本部

稲川小学校

活動の概要

→校内掲示の張替えて、子どもたちの教育環境を整える

玄関と図書館の装飾を月末ごとにボランティアで活動した。各学年で作成した「そめ紙」の校内掲示や図書担当から依頼された「おすすめの本の紹介」の掲示の作業を行った。キャリア教育の「子どもたちの夢コーナー」の掲示も行った。



成果,留意点

- ・作業の度に、各担当の教員と掲示の場所や貼り方、終了日時などの事前に確認をして行った。
- ・貼り方などの作業方法については、見本を事前に準備して、ボランティアが困らないように説明した。

いろんな声

実際にやってみたら、思ったよりも大変で、普段学校で見る掲示物をよく見るようになった

ボランティアをしてみても学校がきれいになるやりがいがある

学校現場では、掲示にかかっていた時間や仕事の負担がなくなり、助かっている

テーマ

校内掲示補助で教員の負担を減らす

～生徒指導部との連携～ <感謝の心を育てるありがとうの木>

雄勝本部

雄勝小学校

活動の概要

→校内分掌による事業の支援活動(生徒指導など)

毎年、各回の教室前のフローに厚紙を利用し木に見立てて「ありがとうの木」を環境ボランティアが制作している。

児童は、友達のいいところを見つけ、葉っぱや実の紙に書いていき「ありがとうの葉っぱ・笑顔の実」が増えていく。



成果,留意点

- ・児童同士が、笑顔になって優しい気持ちになる。
- ・「ありがとう」の気持ちを書くことで、感謝の気持ちをあらわす活動の手伝いとなった。
- ・子どもたちがぶつかるので、敗れたところを修復するボランティアが必要になる。

いろんな声

人のいいところを見つけられることができたね

教員の負担が減って、子どもと向き合う時間が増えた

木に見た立てた紙が切れることがあって直すのがちょっと大変

テーマ 学校農園と花壇をきれいにしよう

～できる時間にできる人が活動する～

皆瀬本部

皆瀬小学校

活動の概要

→夏休み中に行われる活動

夏休み中の学校農園を花壇の水やりを親子ボランティアで取り組んでいる。

2 学期の始まる直前には、民生児童委員協議会の協力により花壇の整備が行われる。



成果、留意点

- ・児童が進んでボランティア活動をしようにとするきっかけになっている。
- ・普段来られない民児協の方にとっては、気楽に学校を訪れる良い機会となっている。

いろんな声

今年は、子どもたちはどんな野菜を植えたのか、見るのが楽しみ

当番ではなく、自主的にやることで、子供のやる気が出ている気がする

テーマ みんなで学校へいこう！地域交流

～助けてもらう活動から一緒にやる活動へ

湯沢北本部

湯沢東小学校

活動の概要

→校庭整備と花壇整備を地域住民と共に

3 年生、なかよし学級の児童と PTA や地域ボランティアと一緒に花を植える。以前は、あくまで植栽の支援をお願いしていた。家族以外の大人と触れ合うことが少ない昨今、地域の方々との交流の場の一つとすることで、自分も地域の一員としての自覚を深めてもらいたい。交流作業を通して、育てる楽しさや、命の大切さを、家族以外の人と共有してほしいと願っている。



会話をしながら手を動かす

成果、留意点

- ・花壇の場所が玄関の横なので登校の度に自分の植えた花が見えるのが良い。
- ・地域ボランティアも、学校に来やすく毎年の活動を楽しみにしている。
- ・高齢者にとっても、大切な自己有用感を感じる活動となっている。
- ・作業補助に関しては、それほどの人数は必要ないが、外の活動なので地域の方が来校しやすい。それは以降のボランティアのしやすさにもつながる。

いろんな声

私が植えた花はこれと言って、お迎えの時に指をさして教えてくれた

他の学校ボラで来た時も、つい花壇の成長ぶりをみてしまう

毎年学校へ呼んでほしい

学習環境を整える

テーマ 本と親しむ環境づくりのために
～図書ボランティアができること～

湯沢北本部

湯沢東小・北中学校

活動の概要

→きれいな図書室は、本を好きになり読みやすくなる

子どもたちが、本を身近に感じてもらえるように図書ボランティアが、図書室環境に様々な工夫をしている。特集コーナーや季節に合わせたディスプレイなどが目を引いている。図書支援員との連携で、アイデア豊富な読書活動も行っている。



成果,留意点

- ・毎日いる図書ボラの他、特別作業が必要な時は、随時保護者や中学生、地域ボラを集めて作業を行っている。
- ・学年文庫の整理や読み聞かせの手配など、教員の業務軽減にも役立っている。

いろんな声

死角が多い図書室に大人がいることで、学校側としても安心できます

授業に必要な資料や本をリクエストすると、速やかにボラが用意してくれて助かっています

テーマ 行事を陰で支える支援活動
～学習発表会や運動会での小物づくり～

山田本部

山田小学校

活動の概要

→大きな行事で使う小物をつくって学校を支える

担任から、相談を受けて、1年生の劇「おおきなかぶ」で使う小物づくりや衣装の手直しを受けもった。前からあった「かぶ」が痛んでいたのを補修したり、児童が着用する衣装を担任の要望通りにつくり替えたり、工夫しながら作業をした。



成果,留意点

- ・出来上がった小物や衣装のおかげで、子どもたちは堂々を発表し、大きな拍手をもらった。
- ・担任からも大いに感謝され、ボランティア側も喜んでくれた。
- ・事前の担任の思いを具体的に聞き取ってボランティアに伝えたことでイメージ通りにできあがった。
- ・ボランティアに急な依頼とならないように、学校側との密な連携が大事である。

いろんな声

思い通りの衣装にしてもらって、とてもありがたかった（担任）

工夫しながら作るのは楽しい。仕上がり喜んでもらえてうれしい

入学時の児童のサポート(スタートボランティア)

テーマ

ICT 授業にも地域の力を
～新1年生の ICT スタートにこそボランティア～

湯沢南本部

湯沢西小学校

活動の概要

→ICT 入門時に落ちのないスタートをさせるために

新1年生の ICT 授業では、まずパスワードの入力、そしてキーボードの扱いなどの壁がある。そこで、地域ボランティアの支援で子どもたちの作業がスムーズに進み、担当教員の負担が減る。個人差を埋めたり、PCの不具合にもすぐに対応したりと、クラス全体の進度を均一にすることができる。



成果,留意点

- ・スタート時に個々のサポートがあれば、子どもたちのキーボード操作もすぐに上達する。大人もこのために、学習する機会を得ることができる。
- ・子どもの主体性を見守りつつ、「できたらほめる」ということをボランティアで共有することを大事にしている。

いろんな声

新1年生と接することが
できる楽しい機会でした。自分
も勉強になった

「できた」「わかった」の元
気な声を聞くと、自分の方
が元気をもらえるなあ

子どものどんどん
吸収する力に教え
る方が驚いた

テーマ たくさんの目で子どもを見守る

～落ち着いた学校生活のスタート、教員 OB の力で～

湯沢北本部

湯沢東小

活動の概要

→入学時の最初の期間 担任の手助けを

入学したてで、学校生活に不慣れな新1年生のスタート時に、1年生担任雑務を減らし児童と向き合う時間を増やすことができる。退職した教員でメンバーを組み、読み聞かせや用具の整理、集団行動の補助をする。



成果,留意点

- ・ベテランボランティアの懐の深さで、1年生を見守っている。
- ・なかなか集団行動がとれなかった子どもがいるが、適切な声掛けや補助により2週間程度で他の子どもたちと同様な行動がとれるようになった。
- ・連絡帳の整理や下校時の印刷物の整理など担任の業務の負担軽減をすることで、担任は子どもと向き合う時間がとれる。

いろんな声

生活や学習ルールを教えるときに、ボランティ
アがいてくれたのでスムーズにできた。

子どもの見守りを中心にやってもら
えるようお願いした。

テーマ 入学時のスムーズな給食のために
～入学間もない1年生のための給食の準備～

稲川本部
稲川小学校

活動の概要

→給食の配膳作業の支援活動

給食の準備の際に、まだ作業ができない新1年生のために配膳の補助を行うボランティアをしている。配膳係が2班に分かれているために、慣れるまで2週間継続した。担任以外の教員の負担が減っている。



成果・留意点

- ・担任の意向を踏まえてボランティア活動の内容を決めて補助を行う。(盛り付け量など、担任の意向をボランティア同士で共有している)
- ・保育園のやり方との違いに、最初は戸惑う子どももいたが、2週間でほぼ自分たちでできるようになった。

いろんな声

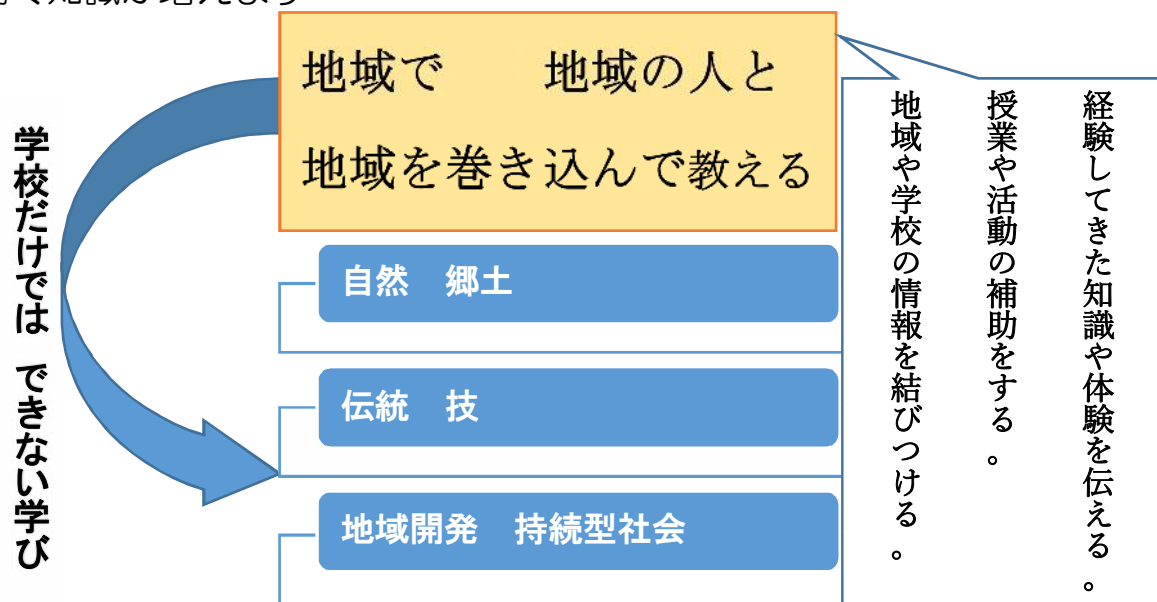
子どもと一緒に活動して、逆に元気をもらった

家では最近言われていなかった「ありがとう」と言われてとてもうれしかった

食べるのに時間がかかるので、準備補助をしてもらって助かっている

4 教育活動の質を高め、内容を豊かにする活動

地域の教育資源を有効に使うことができ、子どもたちにより深い体験や生きて働く知識が増えます



学校と地域で豊かな体験

授業の補助に地域人材が活躍

テーマ 一人一人の作業を保証する技能学習

～ミシンなどの技能授業にたくさんの目と手を～

湯沢南本部

湯沢西小学校

活動の概要

→今やなくてはならぬボランティア(家庭科実習で)

ミシンの授業では、まず保護者にボラ募集の案内を出す。各グループに1名を目標に、保護者+地域ボラを集める。制作手順、ミシンの使用方法について、事前に担当教員と打ち合わせをし、授業の前には、ボラとの作業のポイントを共有する。(子どもたちができないところや苦手な点を中心に補助をすること)



成果、留意点

- ・ミシンが嫌いにならないように、よくできた箇所をほめる声掛けを大事にさせる。
- ・子どもの作業を、ボラが奪ってしまうことがないようにボランティアの目的を確認する。
- ・機械の調子が授業の進度を左右するので、事前に機械の調整は下糸の準備をしておく。

いろんな声

ミシンを使える保護者が減ってきてボランティアの確保が難しい

使えるミシンが少なくなっていて、子どもの活動が制限される



テーマ のこぎりはふるさと先生に任せて

～技能教科には地域人材の経験が活躍～

山田本部

山田小学校

活動の概要

→3年生では、金づちやのこぎりを使った図工の学習がある。児童はもちろん、担任も経験の少ない作業だったので実際に目の前で使い方を指導してもらったのは貴重だった。危険がないように個別に声をかけたり、手をかけたりしてくれたので、担任も安心して子どもと向き合って授業を進めることができた。経験豊富な人材をお願いできたので、道具の選定にも助言をもらうことができた。



成果、留意点

- ・木工の作業に長けている人材を探すのは大変だったが、民生児童委員の協力を得て依頼することができた。
- ・授業の中で担任とボランティアとのコミュニケーションをきめ細かくとっていく必要がある。

いろんな声

教えてもらったので楽しく良い作品ができた

実演や指導もしてもらい、安全にできたのでとてもありがたい

子どもとのふれあいが何より楽しかった。

テーマ 専門性を生かした指導で技が伸びる！
～技能教科におけるふるさと先生の活用～

皆瀬本部
皆瀬小学校

活動の概要

→地域にいる専門的な人材を生かす

陸上競技大会にむけた練習に、元実業団選手の経験を活かした「ふるさと先生」に指導を依頼している。教員と共に練習計画から指導まできめ細かいボランティア活動になっている。



成果、留意点

- ・専門的な知識が子どもたちの興味を引いている。
- ・実際にその練習の成果が、優秀な成績の持続に役立っている。
- ・練習メニューの作成と指導の実際を中心にやってもらうことで教員の負担軽減が図られている。

いろんな声

前よりずっと速く走られるようになって嬉しい

先生方にとっても専門的なことが身につく機会ができる

業務量が軽減され働き方改革につながっている

地域人材を生かして豊かな体験を増やす

テーマ ふるさと学習にこそ地域人材を
～地域の麴店との味噌づくり～

山田本部
山田小・中学校

活動の概要(5/29)

→小学校5年生と中学生と一緒に味噌づくり体験をした。

地元の麴店の全面協力のもと、味噌についての学習を行い、その後4班に分かれて味噌づくりを体験した。できた味噌は麴店発行・保管し、山田中学校祭りで販売した。5年生は、家庭科の授業で、その味噌を使って調理した。麴店からの課題を受けて、6年生が新しい商品開発や売り出し方についてプレゼンを行い、中学生が検討を加えている



成果、留意点

- ・山中コーポレーションで地元の麴店とのパイプをつくっていたので、スムーズに活動できた。
- ・小中合同で活動したことで、今後につながるものとなった。
- ・学校運営協議会が関わって活動を深める工夫ができたことで、これからもより発展的な活動となっている。

いろんな声

中学生味噌づくりをして楽しかった

子どもたちに味噌に関心をもっていただき有難い。(武石麴店)

テーマ 子どもに豊かな体験を地域の力で
～地域の特色である農業の貴重な体験活動～

雄勝本部
雄勝小学校

活動の概要

→地元の農業ふるさと先生の力を借りて

JA こまちを中心に地域団体の協力のもと、児童は地域ボランティアとともに農作物の栽培方法や農作業を学んだ。

2年生：プランターにナスの栽培（協力 JA こまち）

3年生：ネギ収穫（協力株 KAMURO）

4年生：雄勝っ子農園活動（枝豆）（協力 JA こまち）テレビ取材あり



成果,留意点

- ・農作物の種まきや収穫で終わらず、道の駅での販売を通して地域の人との交流ができ、農業への理解が深まった。食糧生産の大切さを教える機会となった。
- ・作物を育てながら、児童が感動や発見、ひらめきなどが生まれ、徐々に農業への関心や意欲が出てきた。

いろんな声

疑問に思うことを聞いてよかった

孫と農作業をして会話が
多くなり楽しかった

初めて枝豆の販売
を行い、ドキドキ
して楽しかった

ネギ収穫で、市
場への流通を学
ぶことができた

テーマ 心に残る学校行事の思い出のために
～教員の授業以外の業務負担軽減を～

稲川本部
稲川小・中学校

活動の概要

→儀式や行事でボランティアがいて助かっています

中学校の入学式の受付と接待のお手伝いをしたり、小学校入学式や卒業式の環境整備の支援をしたりしている。特に玄関装飾では教員や児童のできないところ担当した。事前に推進員が装飾物の準備や手配をすることで、ボランティアがすぐに取りかかることができる。



玄関の飾りつけ

成果,留意点

- ・事前に学校担当者と打ち合わせをし、場所ごとに必要な装飾物を準備する。
- ・事前に、前年度より使用しているものを点検し、ボランティアで修理したり、不足分は作成したりした。

いろんな声

みんなで物作りするの
が楽しかった

飾り付けをすることで
きれいになってよかつた

学校としても、環境ボラのお
かげですぐに作業に取り掛か
れ、後始末も楽になった

テーマ 子どもたちに地域の伝統を伝える ～犬っこ祭り、しん粉細工を学ぶ授業に地域の力～

湯沢南・北本部
湯沢西小・湯沢東小学校

活動の概要

→地域の伝統文化体験を持続させるための協働活動

湯沢西では小3、湯沢東小では小5に対して、しん粉細工の体験をさせている。教員は異動がつきもののために、作業手順や材料の手配などは推進員がその中心となって授業を存続させている。以前は、名人に頼んで指導してもらっていたが、現在はボランティアだけで子どもたちに教えている。



成果、留意点

- ・しん粉細工の作り手が、市内でも少なくなっているため、作業自体貴重な技術を継承する場ともなっている。
- ・継続して行っている経験者ボラを頼んでいるので、毎年安定した支援ができる。しん粉細工制作マニュアルをボランティアで共有している。

いろんな声

伝統をつなぐことの大切さを、
地域住民としても実感できた。

うまくできなかったけど、犬っ
こをつくるのができてうれし
い。早く玄関に飾りたい。

5 コミュニティ・スクールとの一体的な活動

地域と学校が目標や理念を共有し、学校課題を協議することで、学校・家庭・地域としての教育活動の一体化につながります。

地域と学校が一体となることで

① 地域の将来を見据えたブレのない学校運営

- ・教育の目標を共有 →学校の意義を確認→家庭や地域における教育環境の見直し
- ・組織の構築 →地域との協働体制の維持・継続（今以上に）
- ・安定した学校運営 →校長や教職員の移動
- ・地域の特色を生かした教育課程（全国一律な学びではなく）

② 学校にとって心強いふるさと先生

- ・地域の強みを活かした授業（地域を知らない教職員にとって心強い）ができる。
- ・教職員以外の人脈が増え、つながりを大切にしたボランティア活動が生まれる。

③ 学校の課題と現状を理解

- ・学校教育の困難さ（クレーム）→地域の人に理解
- ・学校運営に対して良い変化 →良い案や策の提示（不可能を可能に）
- ・役割分担が明確 →教師と子どもが向き合う時間の確保
- ・地域全体で子どもを見守り →安全上の問題解決

テーマ 本好きな子どもに育てよう
～読書活動の推進をみんなアイデアで～

湯沢南本部
湯沢西小学校

活動の概要

→学校運営協議会で学校課題の解決に向かう

熟議を開催し、読書についていろいろな人で話をした結果、「大人も一緒に本を読もう」という結果になった。夏休みを利用して『夏休み家族で読書』をテーマに、うちの人と一緒に本を読もう企画（子どもが一緒に読みたい本を選ぶ）を進めた。図書ボランティアで企画、チラシ制作などを担当した。（参加 34 名）



成果,留意点

- ・雑務を受けもってもらい、教員の負担が減った。
- ・毎年ではなくても、回数を重ねることで深まりがみえる
- ・中学生の図書室利用が増えたことは、この事業の成果ではないか。

いろんな声

子どもと一緒に読むことがなかったのが良い機会だった

子どもの本のチョイスがおもしろかった。

楽しい企画だった（アンケートより）またやりたい

テーマ 中学生の地域貢献活動へのサポート
～総合的な学習の時間における支援活動～

稲川本部
稲川中学校

活動の概要

→iNA ゼミの活動総合的な学習の時間活動

地域活性化のために模擬会社「稲川カンパニー」を立ち上げ、全校生徒がいろいろな活動に取り組んでいる。地元のりんごを使ったお菓子の販売に向けて、当初は、りんごの処理を教員が行っていた。そこで、協働本部からの支援を申し出て、現在では3回程度カット作業をボランティアで受けもっている。



成果,留意点

- ・教員が行っていたりんごカット作業を協働本が引き受けることで教員の仕事の軽減ができた。
- ・iNA ゼミの活動にボランティアとして関わることで、学校への関心と貢献度を感じることができた。
- ・りんごの収穫時期が不定なので、作業の予定が立たず、急にボランティアを頼むことになった。

いろんな声

ボランティアの協力があり学校として助かった

子どもたちに協力ができてよかった

作業したりんごがどうなっているのか販売会にも行ってみたい

テーマ 学校運営協議会との歩調をそろえて

～学校課題の解決とあい(eye)さつ運動～

雄勝本部

雄勝小・中学校

活動の概要

→学校課題の解決のためにCS との一体的な活動を推進

毎月第3月曜日の登校時に、湯沢少年保護育成委員会、民生児童委員、町内会長、学校運営協議会委員、見守り隊、学校関係者が、学校玄関前、通学路交差点に立ち、朝のあいさつ運動を行った。「eye さつ運動」として目を意識したことで、住民とのコミュニケーションにきっかけとなり、学校課題の解決につながる活動になった。



成果,留意点

- ・あいさつによって、地域のコミュニケーションの活性化を図り豊かな人間関係と住みよい生活環境を築きたい。子ども同士はもとより、地域の大人が率先して声をかけるように心がけた。
- ・家庭、学校、地域など人と人、社会全体のつながりや信頼を深め助け合いの心を育てることができ、さらに防犯や事故防止にもつながると考える。

いろんな声

大人からのあいさつ
ができなかった

児童生徒との距離が近
くなった。

テーマ 地域の中にもっと中学生の姿を見せたい

～地域貢献のために協働本部が活躍する～

湯沢南本部

湯沢南中学校

活動の概要

→ 地域と学校の窓口を明確にして

春の段階で、校長教頭、教務主任と打ち合わせを行い、学校の方針や教育活動を共有する。それ以降は、学校活動のとりまとめは教務主任と行う。地域活動の情報の窓口は、推進員と地区センターや集落支援員、統括推進員との間で行っている



成果,留意点

- ・学校（教務主任）との連携はlineで行うことで活動しやすい環境となっている。他の教員への周知も図ってもらっているので動きやすい。
- ・地域への周知が弱いので、地区センターで学校便りや協働活動を行っている写真の掲示で広報活動に努めている。
- ・推進員の負担が増えているので、学校運営協議会委員の役割を明確にして、もっと協力してもらおう体制にできないかと考えている。

いろんな声

定期的な老人ホームでの中学生の発表が素晴らしい。

中学生の姿をもっと見せることができればいいな

テーマ 気軽に地域貢献活動に触れる中学生 ～中学生が地域で活躍する「ちょい活」～

湯沢南本部
湯沢南中学校

活動の概要

→コンセプトは、「中学生が地域で役立つ存在になる」

推進員が各地区センターや集落支援員と連携し、中学生が参加できそうな行事をピックアップする。地域行事予定と小・中学校の行事予定をもとにコミュニティカレンダーを作り、それを参考に求人方式で生徒の参加を募る。希望があれば、推進員が調整に当たり、地域行事での中学生の貢献活動が可能になる。



産業文化祭での喫茶コーナー

成果、留意点

- ・落ち葉拾い、チューリップ植え、書初め、犬っこ祭り観光ボラ、三関大綱引きなどの参加実績がある。参加承諾書を保護者からもらっている。
- ・部活や学校行事優先であるので、あくまで土日の都合のつく範囲で参加する。

いろんな声

（地域）いつも高齢者が多く、寂しい状況だったが、中学生の参加で元気が出た。次もぜひ参加してほしいなあ

（中学生）ふれあいが楽しかった。私たち南中は地域とのつながりを大事にしている学校だと思う



テーマ まるっとつながる地域学校協働活動推進員 ～学校運営協議会との一体的な活動のために～

皆瀬本部
皆瀬小・中学校

活動の概要

→学校運営協議会の一員としての推進員の役割

小中連携をはじめとした両学校間のつながりを深め、地域代表としての役割を果たすために、「皆瀬の子どもを守る会」の出席などの活動がある。また、普段から地域商店へのあいさつ回りをするなど、地域に顔を覚えてもらう活動をしている。運営協議会会長の連絡を大事にする。



中学生と住民のトークフォークダンスの一幕

成果、留意点

- ・学校運営協議会委員や地域学校をつなぐこまめな取り組みが大事である。
- ・地域と学校双方向の意見交換ができるように間を取りもつ。
- ・子どもを守る会は、学校を中心に防犯や防災について話し合う会議である。
- ・コミュニティカレンダーの作成のために地域の情報を足で集めている。

いろんな声

学校からの意見を地域の届けてもらっている

電話で学校の様子を聞けるのがいいな

皆瀬小中学校 CS キャラクター

「みなのにゅう」



テーマ 多く人とふれあい防災の意識を高めよう

～小・中・地域合同避難所開設訓練～

山田本部

山田小・中学校

活動の概要

→地域と学校が協働で防災教室を開く

学校運営協議会の協議の中で地域防災の重要性が確認され、運営協議会が企画運営して行った。市の防災監や防災士の協力のもと、小中学校が班に分かれて、避難住民への支援の仕方について実際に体験しながら学んだ。民生児童委員や障害者施設の利用者、キッズステーションの担当者など地域住民 33 名が来校し、避難者として児童生徒と一緒に活動してくれた。



住民の受け入れ作業

成果、留意点

- ・受付や非常食配布、テント設営など中学生を中心に行うことで、防災意識の高まりと共に地域への貢献についても考えることができた。小学生にとってロールモデルとなった。
- ・地域との連絡等は運営協議会委員が担ったことで、多くの方の理解と参加を得ることができた。

いろんな声

学校の活動に参加し、子どもたちと一緒に勉強できてよかった

難しいこともあったが、自分たちにもできることがあると気づいた（中学

もっと地域が主導で進めていくことができるのでは（学校の負担減）

6 未来塾の活動

地域人材による学習支援員の配置で学習習慣の定着と基礎学力の向上を図るプログラム



親身になって質問に答えることで、信頼関係が生まれる。



自分で学習を進めているが、分からないことはすぐに学習支援員に質問できる雰囲気がある。



夏休み中の小学校未来塾を開催した。課題を終えた後のおもしろ理科実験教室の様子。

活動の概要

→地域人材(教員 OB)の利用で教員のゆとりを生む効果

部活の終了する3年生の7月から、週に1回、放課後90分を利用して、未来塾を開催している。現在は、稲川中学校、雄勝中学校の2校で3年生を中心に1,2年生も含めて50名ほどの生徒が利用している。小学校では、夏休みを利用して「宿題お助け隊」と称して学習サポート事業を行った。



雄勝中での放課後学習の様子

成果,留意点

・気軽に質問できるように、学習者との距離を縮めることが大切。質問をしやすくするための雰囲気作りも大事にしてきた。

いろんな声

・学校での学習を尊重して、学習指導ではなく、あくまでもサポートに努めている。(実力テストの間違いの再学習など)

最初は、緊張したけど、すぐに担当する支援の先生に質問できた。

(中学生)家で勉強するより、集中できるよ

(支援者)こちらから気楽に声をかければ、仲良くなりやすいな。

